

リペアミックスJ1

リペアミックス
シリーズ

NEXCO断面修復(左官工法・吹付け工法)規格適合品
JR西日本認定断面修復材(湿式吹付け)

特長

- 1 早期の高強度発現性・低収縮性
- 2 粉末樹脂を配合した一材型PCM
- 3 良好な圧送性と厚付性
- 4 優れた鉄筋背面充填性
- 5 水量調整により左官施工も可能
- 6 亜硝酸リチウムの混和に対応



標準配合

品名	通常使用	
	1袋当り	1m ³ 当り
リペアミックスJ1	25kg	1,850kg (74袋)
清水	3.4~4.0kg	252~296kg

※ 清水は施工環境や施工機械特性などに応じて、上記範囲内で調整してください。
※ 防錆剤を使用する場合は事前に試験練りを行ってください。

基本物性

温度：20℃

試験項目	試験結果	試験方法
混練水量	3.7kg/袋	—
モルタルフロー (—)	147.5	JIS A 1171
モルタルスランプ (mm)	20	JIS A 1171
単位容積質量 (kg/L)	2.101	JIS A 1171
硬化時間 (時:分)	5 : 33	JIS A 1171
圧縮強度 (N/mm ²)	1日	13.1
	7日	40.9
	28日	47.3
静弾性係数 (kN/mm ²)	28日	21.2
接着強度 (N/mm ²)	28日	2.4
乾燥収縮 (%)	28日	-0.046

※試験値は社内試験による測定例であり、保証値ではありません

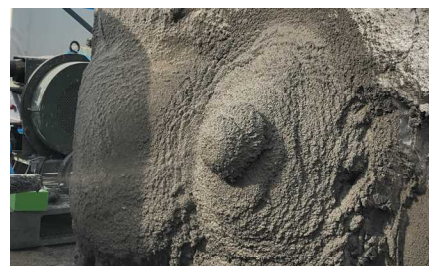
適用例



橋脚鉄筋増設工事



床版補強工事



亜硝酸リチウム混和時の吹付け性状

使用方法

詳しくはリペアミックスJ1 施工要領書をご覧ください。

1

下地処理

- ①施工面の浮き部、ひび割れ部やその周辺の脆弱部をはつり取り、油分、塵埃等を除去してください。
- ②露出鉄筋の防錆処理が必要な場合は、下地強化を兼ねてリペアペーストを全面塗布してください。
- ③下地の吸水が激しい場合は、吸水調整材を塗布してください。

2

施工準備

- ①吹付け施工する場合は、ミキサー、ポンプ等の機材を適切に配置した後、ホッパーからセメントノロを圧送してください。
- ②左官施工する場合は、施工箇所周辺を汚損させないようにシート等で養生してください。

3

練混ぜ

- ①粉体を投入したモルタルミキサーに所定量の清水を加えて、3分間以上丁寧に練混ぜてください。
 - ②亜硝酸リチウムを添加する場合は、バケツ等で清水とよく混合してからミキサーに投入してください。
- ※水量は施工時の気象条件、施工規模、機械特性などに応じて適切な粘性になるよう調整してください。

4

施工

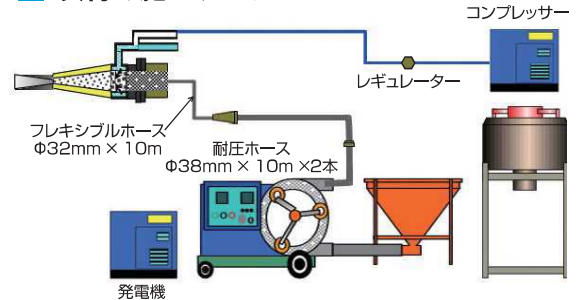
- ①吹付け施工する場合、1回の吹付け厚は壁面で60mm、天井面で40mmを限度とし、吹き重ねる場合は、前層の指触硬化を確認してから施工してください。
- ②左官施工する場合、少量を下地によく擦付けて馴染ませた後、追っかけて所定の塗り厚に仕上げてください。

5

養生

- ①モルタルの締め具合を見て仕上げ押えてください。
- ②急激な乾燥を防止するため、被膜養生剤の塗布、またはシート等で覆って施工面を養生してください。

吹付け施工システム



関連
商材

鉄筋防錆剤



塗布型防錆剤
リペアペースト



亜硝酸リチウム系
防錆剤
RM-40S

断面修復材



断面修復用
ポリマーセメントモルタル
リペアミックス Pro



断面修復用
ポリマーセメントモルタル
リペアミックス

無収縮グラウト材



セメント系
無収縮グラウト材
グラウトミックス

吸水調整材・被膜養生剤



アクリル系エマルジョン
リペアプライマー



EVAエマルジョン
キープジョンK-100

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。



危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。

【安全対策】 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

【応急措置】 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。
・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

【保管】 部外者が触れないような措置をし、保管すること。

【廃棄】 内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

注意事項

【使用上の注意】 気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
・本製品はセメント製品につき湿気・雨露や直射日光を避け、パレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管すること。

【カタログに関する注意事項】 本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。

株式会社 トクヤマ エムテック

URL <https://www.k-tokuyama.co.jp>

本社・東日本営業Gr 103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F
TEL 03-6265-1075 FAX 03-6265-1073

中日本営業Gr 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

西日本営業Gr 812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2
TEL 092-642-9070 FAX 092-642-9071

首都圏セメント建材開発センター 299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10
TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店